VINCULUM JAPAN

2012年3月期第2四半期　決算説明資料

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

2011年11月16日

JASDAQ
Listed Company 3784

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

目 次

1. 2012年3月期 第2四半期決算の状況

◇決算のポイント ・・・ 4P

◇業績の概要 ・・・ 5P

◇分野別状況 ・・・ 6P

◇四半期別 業績推移 ・・・10P

◇分野別受注高・受注残高の推移 ・・・11P

◇財政状態（前期末比較） ・・・12P

◇キャッシュ・フローの状況 ・・・13P

2. 新中期経営計画

◇中期計画の見直しについて ・・・15P

◇差別化の要因(コアコンピタンス) ・・・16P

◇特定顧客化戦略 ・・・17P

◇特定顧客化戦略（新会社設立について）・・・18P

◇グローバル戦略 ・・・19P

◇商品・サービスの差別化戦略 ・・・20P

3. 2012年3月期の業績予想について

◇通期業績予想の修正について ・・・23P

◇株主様への利益還元について ・・・24P

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

1. 2012年3月期 第2四半期決算の状況

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

決算のポイント

＜上期総括＞

大きな収益構造の変化を特定顧客の拡充により建て直し
＜売上高は目標値達成＞

特定顧客化戦略 ＋ グローバル戦略 ＋ 商品・サービスの差別化戦略

◆連結売上高ほぼ予測どおり（開示比104．5％）
アウトソーシング分野、ソリューション分野、その他IT関連分野で特定顧客化戦略が奏効し売上増加、プロダクト分野は新規システム投資案件抑制の影響により減少

◆先行投資の影響により利益減少
パッケージ販売が投資の冷え込みにより減少し、各利益減少
大型のアウトソーシング案件の安定稼動のための一時的な増員、
クラウド向けプロダクト開発、アセアン地域での事業化調査（フィージビリティスタディ）
など積極的に行ったため利益減少

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

業績の概要

単位:百万円、% 百万円未満切捨て	第2四半期連結累計		開示対比(5月11日発表)				前年対比			
	実績値	売上比	開示比	開示差	開示値	売上比	前年比	前年差	前年値	売上比
売 上 高	*4,403*	―	104.5	188	4,215	―	98.3	△76	4,479	―
売上総利益	*611*	13.9	69.1	△273	885	21.0	66.0	△314	925	20.7
販売管理費	*776*	17.6	90.3	△83	860	20.4	90.6	△81	857	19.1
営業利益	*△165*	△3.8	―	△190	25	0.6	―	△233	67	1.5
経常利益	*△133*	△3.0	―	△153	20	0.5	―	△210	76	1.7
四半期純利益	*△75*	△1.7	―	△88	13	0.3	―	△85	9	0.2

【第1四半期実績】

売 上 高	*2,277*	―	109.7	202	2,075	―	104.8	103	2,173	―
売上総利益	*340*	14.9	75.6	△109	450	21.7	80.7	△81	421	19.4
販売管理費	*397*	17.5	94.7	△22	420	20.2	92.0	△34	432	19.9
営業利益	*△57*	△2.5	―	△87	30	1.4	―	△46	△11	△0.5
経常利益	*△26*	△1.2	―	△56	30	1.4	―	△14	△12	△0.6
四半期純利益	*△12*	△0.5	―	△26	14	0.7	―	45	△57	△2.7

【第2四半期実績】

売 上 高	*2,126*	―	99.4	△13	2,140	―	92.2	△179	2,306	―
売上総利益	*271*	12.8	62.3	△163	435	20.3	53.7	△233	504	21.9
販売管理費	*378*	17.8	86.1	△61	440	20.6	89.0	△46	425	18.5
営業利益	*△107*	△5.1	―	△102	△5	△0.2	―	△186	78	3.4
経常利益	*△106*	△5.0	―	△96	△10	△0.5	―	△195	88	3.8
四半期純利益	*△63*	△3.0	―	△62	△1	0.0	―	△130	67	2.9

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

分野別状況

アウトソーシング分野
（システム運用・管理サービス、保守、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等）

✓活動結果サマリー

・売上高は特定顧客へ注力し前倒しで受注するなど順調に推移（新規案件も受託）
・利益面は大型アウトソーシング安定稼動のため一時的な増員と設備等投資を行ったため悪化

単位：百万円、％、 百万円未満切捨て

			開示対比				前年対比			
	実績	※比率	開示比	開示差	開示値	※比率	前年比	前年差	前年値	※比率
売　上　高	*1,840*	*41.8*	101.4	24	1,816	43.1	86.8	△279	2,119	47.3
売上総利益	*125*	*6.8*	38.7	△198	324	17.8	35.5	△227	353	16.7
営 業 利 益	*△67*	*△3.7*	ー	△161	94	5.2	ー	△175	108	5.1

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

分野別状況

ソリューション分野
（流通サービス業基幹システム、クレジットカードシステム、Webシステムの開発）

✓活動結果サマリー

・売上高は特定顧客化戦略により取引高が伸び売上高全体としては増加
・売上総利益は外注費が増加したことで一時的に原価率が上がり利益増に至らず
・営業利益はターゲットを絞った効率的な営業により販売管理費を圧縮し利益を確保

単位：百万円、%、 百万円未満切捨て

			開示対比				前年対比			
	実績	※比率	開示比	開示差	開示値	※比率	前年比	前年差	前年値	※比率
売　上　高	*1,500*	*34.1*	111.5	155	1,345	31.9	108.5	117	1,382	30.9
売上総利益	*235*	*15.7*	73.3	△85	321	23.9	97.7	△5	240	17.4
営業利益	*68*	*4.5*	219.4	37	31	2.3	297.5	45	22	1.7

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

分野別状況

プロダクト分野
（流通サービス業向けパッケージ開発、販売）

✓活動結果サマリー

- 売上高は、既存顧客におけるプロダクト製品の導入が一巡したこと及び新規システム投資案件の抑制の影響により減少
- 利益面は、新規システム投資の抑制の影響によりパッケージ販売売上が伸び悩んだこと等により前年対比減

単位：百万円、％、 百万円未満切捨て

			開示対比				前年対比			
	実績	※比率	開示比	開示差	開示値	※比率	前年比	前年差	前年値	※比率
売　上　高	346	7.9	72.5	△131	478	11.3	85.7	△57	404	9.0
売上総利益	102	29.5	94.2	△6	108	22.7	47.9	△111	213	52.8
営業利益	23	6.8	28.1	△60	83	17.5	18.2	△105	129	31.9

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

分野別状況

その他IT関連分野
（ハードウエア販売、移設展開サービス、その他ITサービス）

✓活動結果サマリー

・売上高は主要顧客向け店舗システム導入に伴いハードウエア販売が好調に推移し増加

・利益面は、主要顧客の販促強化案件が順調に推移し増加

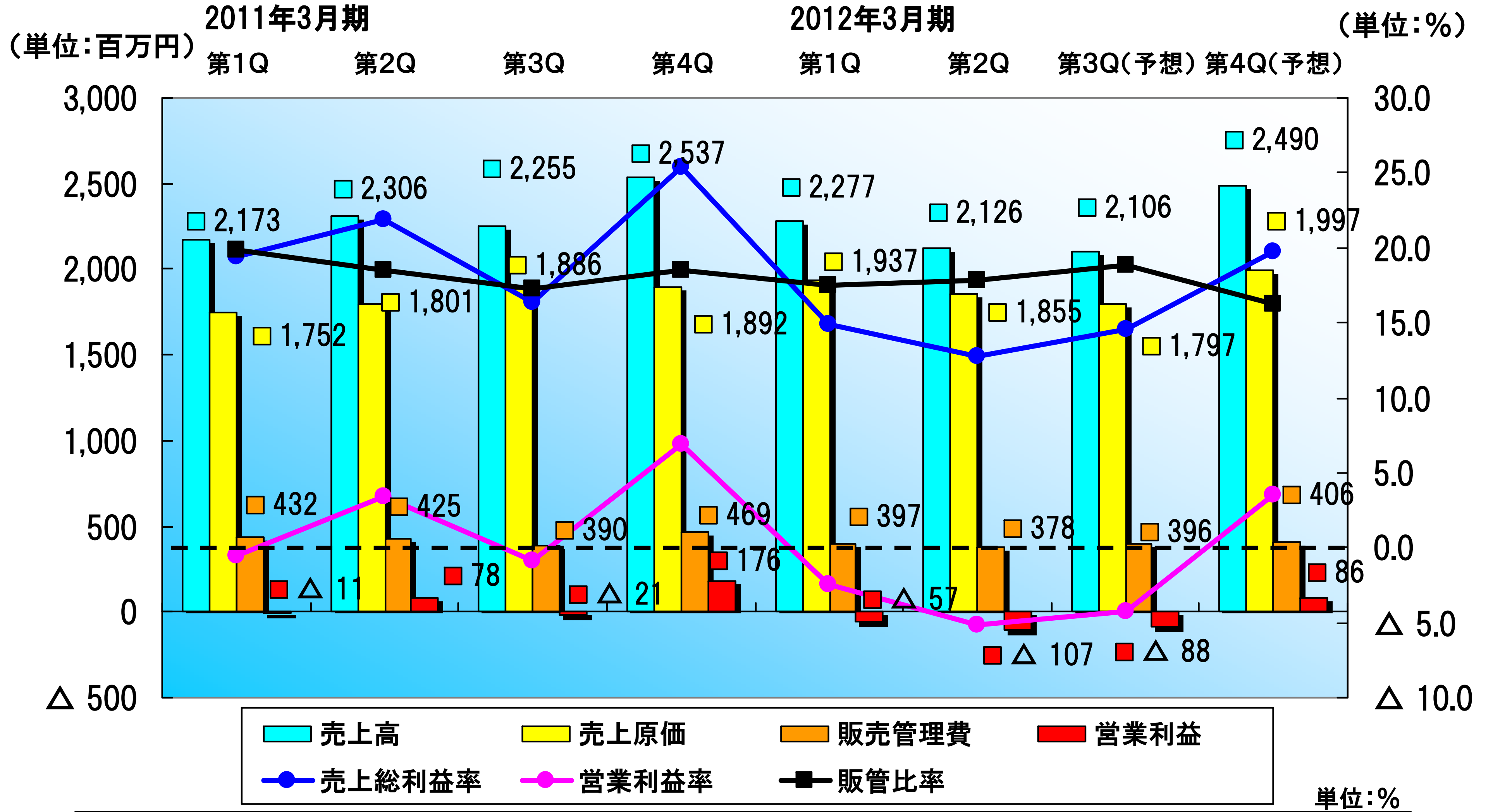
単位：百万円、%、 百万円未満切捨て

			開示対比				前年対比			
	実績	※比率	開示比	開示差	開示値	※比率	前年比	前年差	前年値	※比率
売上高	*715*	*16.3*	124.3	139	576	13.7	125.0	143	572	12.8
売上総利益	*148*	*20.7*	112.8	16	131	22.8	125.6	30	118	20.6
営業利益	*98*	*13.7*	104.3	4	94	16.4	145.6	30	67	11.8

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

四半期別　業績推移



単位：%

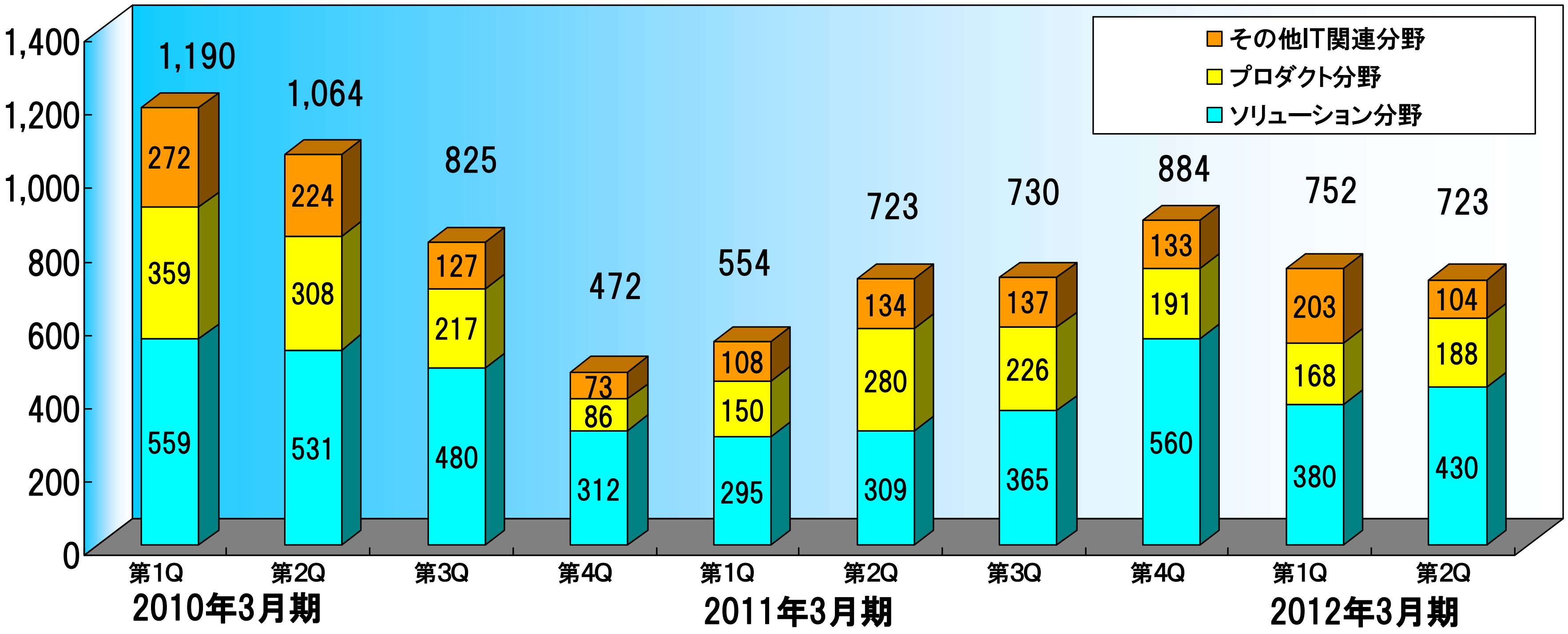
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q予想	第4Q予想
売上総利益率	19.4	21.9	16.4	25.4	14.9	12.8	14.6	19.8
販管比率	19.9	18.5	17.3	18.5	17.5	17.8	18.8	16.3
営業利益率	△0.5	3.4	△0.9	6.9	△2.5	△5.1	△4.2	3.5

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

分野別受注高・受注残高の推移

＜受注残高の推移＞

（単位：百万円）



＜受注高の推移＞

単位：百万円

	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q
ソリューション分野	491	766	657	744	655	723	664	980	605	765
プロダクト分野	221	231	63	149	192	405	143	268	120	222
その他IT関連分野	497	221	247	283	316	316	397	454	453	233
合　　計	1,210	1,219	968	1,177	1,165	1,445	1,205	1,703	1,179	1,221

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

財政状態(前期末比較)

【貸借対照表】

(単位:百万円)

区分	2012年3月期第2四半期末	構成比	2011年3月期末	差額
流動資産	3,158	61.4	3,824	△666
固定資産	1,983	38.6	1,810	172
＜有形固定資産＞	554	10.8	499	55
＜無形固定資産＞	779	15.2	744	35
＜投資その他の資産＞	649	12.6	567	82
資産合計	5,141	100.0	5,635	△493
流動負債	1,471	28.6	1,783	△311
固定負債	154	3.0	211	△57
負債合計	1,626	31.6	1,994	△368
純資産	3,515	68.4	3,640	△124
負債・純資産　合計	5,141	100.0	5,635	△493

【貸借対照表のポイント】

＜流動資産＞
- ・現預金の減少(△512百万円)
- ・売掛債権の減少(△51百万円)

＜固定資産＞

(有形固定資産)
- ・新規投資による投資額の増加

(無形固定資産)
- ・新規ソフトウエア取得額の増加

＜負債＞
- ・未払金の減少(△149百万円)
- ・仕入代金支払による減少(△47百万円)
- ・社債の減少(△39百万円)

＜純資産＞
- ・四半期純損失の計上(△75百万円)

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

税金等調整前四半期純損失（△）	△ 133
減価償却費	164
のれん償却額	18
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 6
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△ 23
売上債権の増減額（△は増加）	52
たな卸資産の増減額（△は増加）	76
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 47
未払金の増減額（△は減少）	△129
その他	△ 96
小計	△ 124
法人税等の支払額等	△ 12
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 137
有形固定資産の取得による支出	△ 112
無形固定資産の取得による支出	△ 146
定期預金の払戻による収入	36
その他	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 213
社債、借入金の返済による支出	△ 79
配当金の支払額	△ 63
少数株主からの払込みによる収入	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 127
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 475
現金及び現金同等物の期首残高	1,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,060

【キャッシュ・フロー計算書のポイント】

＜営業キャッシュ・フロー＞

増加要因

・固定資産の取得等による減価償却費の計上

減少要因

・税金等調整前四半期純損失の計上

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

・サーバー等の有形固定資産の取得による支出

・ソフトウエア等の無形固定資産の取得による支出

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

・株式会社エス・エフ・アイにおける社債・借入金の返済

・配当金の支払による支出

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

2. 新中期経営計画

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

中期計画の見直しについて

当社を取り巻く状況の変化

本年度は成長路線への転換を図る計画でしたが、以下のような状況の変化により計画を見直し新中期経営計画(2011年度-2013年度)を策定。
3つの戦略により業績の改善・事業拡大を推進。

(1)大手量販店の吸収合併による収益構造の変化

(2)一層加速する流通サービス業のグローバル化

(3)震災によるIT投資の抑制・減少

- 特定顧客化戦略
- グローバル戦略
- 商品・サービスの差別化戦略

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

差別化の要因(コアコンピタンス)

コアコンピタンスの更なる強化へ

- ✓中国子会社を利用したIT投資削減効果
- ✓流通小売業に精通した運用ノウハウと高い運用品質
- ✓中国でのサポートができる国内のITベンダー

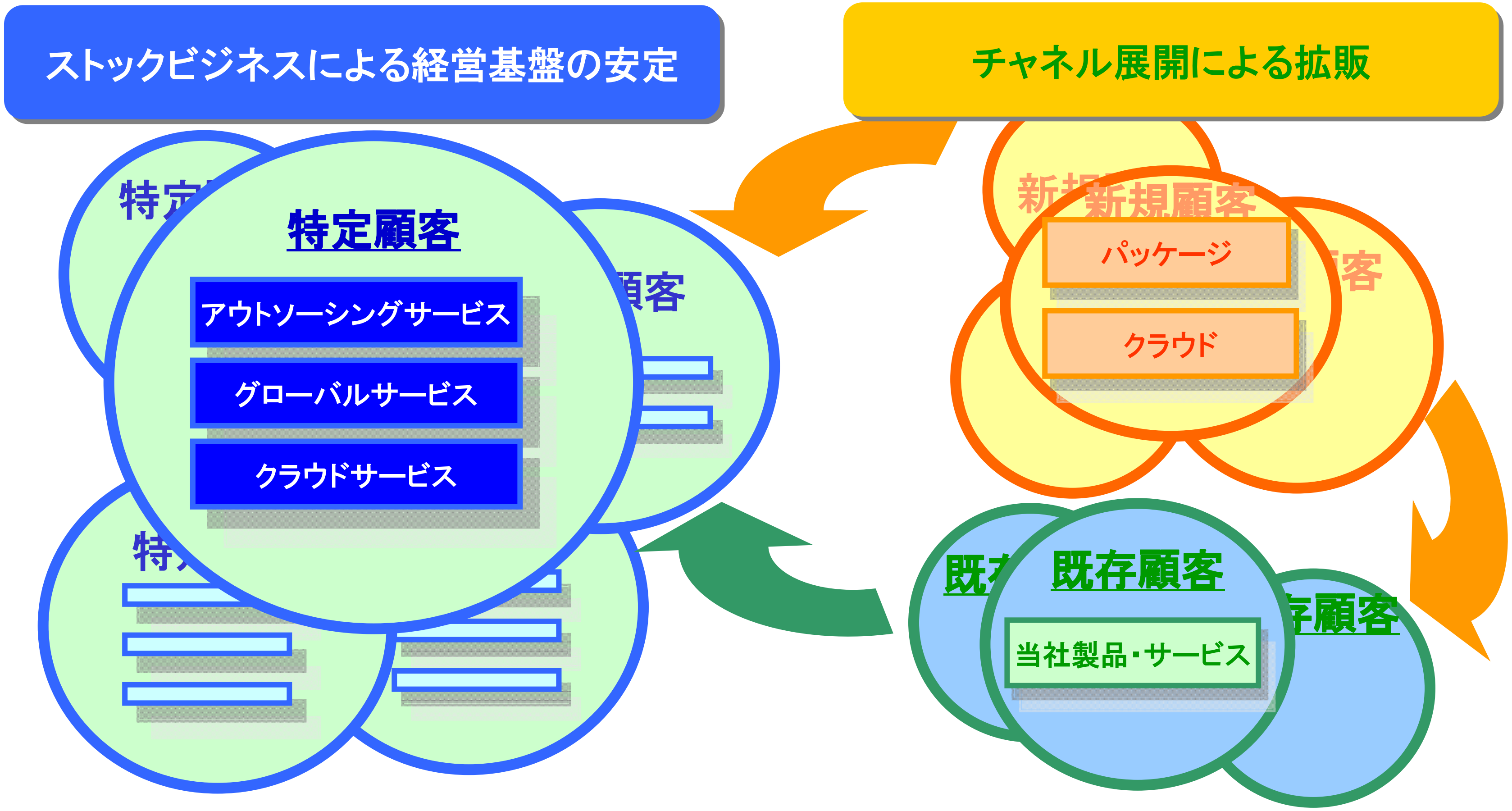
顧客価値

- ✓コストダウンの実現
- ✓グローバルレベルでの可用性(Capability)の向上
- ✓中国進出における安心感

具体例:大手総合小売業グループの統合ヘルプデスク、会計BPOなど

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

特定顧客化戦略



VINCULUM JAPAN Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

特定顧客化戦略(新会社設立について)

イオンディライト株式会社との合弁による新会社を設立
(2011年10月25日　発表)

当社とイオンディライトは総合FMS事業を支えるIT(インフォメーション・テクノロジー)の新会社を設立し、ITに基づく大幅なコストダウンと競争優位性の向上を図り、イオンディライトグループの事業構造改革を強力に推進するとともに総合FMSを牽引するIT関連ソリューションの提供をおこなう新しい事業の確立を推進してまいります。これにより、イオンディライトは総合FMS事業での新事業分野を開発し、ヴィンキュラム ジャパンは新会社の事業を通じて新たな市場を獲得し、事業規模を拡大してまいります。

【新会社の概要】

・商号	:未定
・代表者	:未定
・本店所在地	:千葉県千葉市美浜区中瀬1－5－1
・設立年月日	:2011年12月1日(予定)
・主な事業内容	:コンピュータソフトウェアの開発・販売・リース、情報処理サービス、情報通信サービス、情報収集・提供サービス
・決算期	:2月末日
・資本金	:95百万円
・取得価額	:イオンディライト　133百万円、当社　57百万円
・出資比率	:イオンディライト　70%(1,330株)、当社　30%(570株)

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

グローバル戦略

H22年度(2010) / H23(2011) / H24(2012) / H25(2013) / H26(2014) / H27(2015)

ビジネスモデル

- 大手量販店受託ビジネス依存型
- 大手総合小売業グループの中国ベストパートナー
- 大手総合小売業グループのアジアベストパートナー
- 日系流通企業のベストパートナー
- アジア流通ITのデファクトスタンダードに

グローバル成長戦略

・ヴィンキュラムチャイナ設立
・オフショア運用による日中間24時間365日運用
・現地要員への教育開始

・上海ヴィンキュラム 設立
・ANY-CUBE現地開発教育
・大型アウトソーシング稼動

グローバルレベルの人材マネジメント
人種、言語を超越した文化形成
リソース最適配置

成長機会へ経営資源の投入
開発体制の構築

・グローバルデリバリー体制の確立

差別化可能なケイパビリティ

・プロダクトのローカライゼーション
・XBIT拡販

成長の柱

- 国内向けビジネスオフショア運用
- 大手総合小売業グループ向けグローバルビジネス
- 日系企業向けグローバルビジネス
- アジア流通業向けグローバルビジネス

市場環境

- 日系小売業のアジア進出
- クラウドサービス普及

主要顧客動向

- 大手量販店業務受託
- 大手総合小売業グループのアジア展開

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

商品・サービスの差別化戦略

クラウド基盤技術開発

業務アプリケーション層（SaaS　Software　as　a　Service）

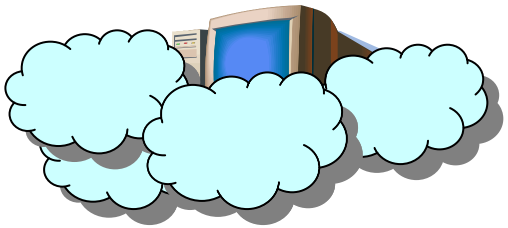
↑

クラウド基盤技術（Flexible　I／O）などFlexibleシリーズ

↓

インフラ層（IaaS　Infrastructure　as　a　Service）

- ✓クラウド時代に即したフレームワークとして当社独自のFlexibleシリーズを開発
- ✓Flexibleシリーズにより生産性を向上させ、当社プロダクト製品のクラウド化を展開



パッケージ製品追加開発

- ✓グローバル化を見据えた「ANY-CUBE®」のローカライゼーション（言語対応、税制対応、通貨対応など）対応
- ✓「MDware®」のドラッグストア向け対応の為、発注機能を拡充

Copyright(C) 2011　Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

商品・サービスの差別化戦略

ローカライゼーション

大手総合小売業グループの進出及び進出予定地

ローカライゼーション

- ✓言語対応・・・中国語や英語
- ✓税制対応・・・現地税制や商習慣への対応
- ✓通貨対応・・・マルチ通貨

センターサーバー

- ✓遠隔地の管理・・・集中管理によるIT運用コストの低減およびIT統制

グローバル展開対応商品の拡充

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

3. 2012年3月期の業績予想

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

通期業績予想の修正について

■通期売上高の修正

売上高につきましては、第3四半期連結会計期間以降も特定顧客化戦略によりアウトソーシング案件の増加が見込まれること、顧客管理システム「Satisfa®」、商品管理基幹システム「MDware®」及びテナント管理システムなどの大型案件を受注したことなどにより順調に推移する見通し。

■営業利益、経常利益の修正

大型アウトソーシング案件が徐々に安定稼動すること、大型開発案件が増加することなどにより利益率の改善を見込んでおります。しかしながら、こうした利益率の改善は段階的に進むことが想定されること及びアセアン地域における事業化調査やクラウド開発への先行投資を今後も継続することなどにより 、業績の修正を行います。

単位：百万円、％　百万円未満切捨て

【連　結】	10月21日発表		5月11日発表　開示対比				前年対比			
	修正開示値	売上比	開示比	開示差	開示値	売上比	前年比	前年差	前年値	売上比
売 上 高	*9,000*	ー	105.9	500	8,500	ー	97.1	△273	9,273	ー
売上総利益	*1,412*	15.7	77.3	△ 415	1,827	21.5	72.8	△528	1,940	20.9
販売管理費	*1,580*	17.6	91.0	△157	1,737	20.4	92.0	△137	1,717	18.5
営業利益	*△168*	△1.9	ー	△258	90	1.1	ー	△390	222	2.4
経常利益	*△133*	△1.5	ー	△213	80	0.9	ー	△348	215	2.3
四半期純利益	*△55*	△0.6	ー	△115	60	0.7	ー	△151	96	1.0

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

株主様への利益還元について

配当方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、企業価値の向上と将来の事業拡大のための内部留保を勘案しつつ、安定的な配当を基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のための新規事業及び新製品の開発に対して有効に投資してまいります。

業績に連動した利益還元を実施しつつ、安定的な配当の維持に努めてまいります。

当期の配当金額については、先行きが不透明な状況でございますので、ビジネスの進捗状況と今後の業績を鑑みた上で、1株当たりの配当金額を確定させていただきたいと考えております。

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.

＜本資料取扱のご注意＞

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

ヴィンキュラム ジャパン株式会社
管理部　経理財務グループ
e-mail：ir@mail.vinculum-japan.co.jp

Copyright(C) 2011 Vinculum Japan Corporation. All Rights Reserved.